

先輩の話

まず、鄭先生は新入生たちとあいさつしました。

鄭先生 今日、3人の先輩が来ました。先輩たちの背景を皆に紹介したいです。まず、付さんは今年三月にうちの学校を卒業した先輩です。今、名古屋工業大学に通っています。彼はとても素晴らしい学生だと思います。中国で私と初めて会う時、私に言ったことをこの学校に入ってから卒業までずっと忘れずに実現した。彼は、その二年間に毎日一生懸命勉強したから、自分の希望の大学に進学した。次ぎは、張さんのことです。彼は典型的にリーダーシップがある学生です。07年四川大地震の時、彼は、この学校の学生たちを連れて天王寺公園に行つて、遭難の人々たちのために、義援を募る活動を行いました。その上、百万円以上の寄付金が募られました。うちの学校はそのため、今度中国大史館から感詩状をもらいました。最後一人の女の子の王さんです。彼女はほかの二人の先輩より早くうちの学校を卒業した学生で、大阪教育大学に入学し、来年の4月横浜国立大学の大学院生になりました。三人は全部優秀な学生ですが、今日、みんなのためにわざわざ遠いところを来ていただいて、みなさん何か質問があれば、必ず聞いてください。

三人の先輩が登場しました。

王さんは自分の勉強の体験やアルバイトの縮験などについて発表しました。

1)勉強はもちろん自分が努力しないと、いけないことですが、その上、皆さんはいま日本に来たばかりから、何も知らなくて、失敗することを避けられないから、そんなに心配しなくてもいいですが、でも一つの大事な事を絶対に忘れないでほしいです。それは何の物事に自分の意見をしっかり持っているほうがいいです。何かわからない時、必ず先生に聞いてください。自分が私一人で扱えると思っていて、勝手に行動するのはダメです。皆さんはいま日本に来たからには、余計な事を考えないで、まず日本語の勉強に全力を集中して、学校の先生に従って、先生の言った通りで行動したら、大丈夫だと思います。

2)アルバイトは日本に来たら、中国の留学生にとって、新主な事じゃなくて、当たり前のことです。だから、もうすぐここに座っている皆さんは体験するんですよ。この中の味は本当に一言で表せない、自分の口に入れないと、わからないですから。実は、アルバイトする意味はただお金をもらえることじゃなくて、アルバイトしないと、日本の生活に十分理解できないです。アルバイトする場所は日本人を知るのにちょうどいい教室のようなところですよ。

王さんは学生の疑問についての答え。

1)奨学金はどうやってもらえますか？

こたえ：主に自分の成績の程度によって、きまりますが、その上大学の活動に参加する状況も参考になりますよ。

2)大学に編入することは直接に大学に進学ことより難しいですか？

こたえ これは、私はよくわかりませんが、先生に聞いたほうがいいです。

張さん：編入は確かにちょっと難しいです。

張さんの話の内容：

私は皆さんに言いたいことは、まず自分の目的意識を持たなければならないです。自分がどうして日本に留学に来たのを忘れないで、そして、目的を果たすためにちゃんと努力してください。皆さんは日本に来たばかりから、右も左もわからなくて、何か問題があったら、あわてて解決できない時、必ず学校の先生と相談してください。うちの先生は本当に優しいし、皆さんのことをいつも心を配っています。このことは、私はよくわかります。実感をしましたから、本音を吐きました。心から感心したことには、その時、私の大学の面接を準備するために、担当先生の中村先生は自分の食事を取る時間を犠牲して私と何回も練習しました。先生は私にとって本当に日本でお母さんのような人です。だから、この学校に入った皆さんは私と同じラッキーだと思います。この機会を大切に、先生のことを信じて、努力してください。もう一つは、アルバイトする時、いくら小さいことをなめないで、まじめにして、自分の責任をちゃんともってください。最初もちろん苦勞をしますが、だんだん良くなりますよ。尊敬あつての尊敬されるものだから、相手に信頼してもらうために、努力しないと、できません。絶対にウソをつかないで、ただ一回したら、二度と信用することはできません。皆さんはぜひ注意してください。

付さんの話の内容：

私は張さんと同じ今年の三月にこの学校を卒業しました。私は工科生として、自分の縮験を皆さんに紹介したいです。もし皆さんが日本で国公立大学に入りたかったら、日本語はもちろん、数学とか、英語とか、物理とか、化学とか、歴史とか、地理とかまで全部勉強したいといけなです。特に工科生にとって、一日たりとも無駄にできない。そうすると、いい大学に入ったら、油断もできない。私は今大学の一年生として、知らないことは山ほどです。授業を受ける時、一番つらいことは先生が黒板に図を描きながら、説明するのを聞いたら、70%全然わからないことです。勉強上は、近道がないのをよくわかってるから、先生の言ったことを全部メモにして、その後、自分で図書館で勉強します。今本当に後悔しているんです。この学校いる時、もっと日本語を頑張って勉強すれば、いいものを。だから、皆さん、この貴重なチャンスを大切にしてください。この学校の先生ほど情けがあり、責任感があり、親切な先生は大学に入ったら、本当にいないと思います。大学に入ったまで私は初めてこんな感じを実感しました。大学で、あまり教授に会わない。何でも自分でしないといけなです。だから、時々この学校のことを思っています。本当に懐かしいなあ。今まで、ここの先生と連絡しています。清風の先生たちは私にとって、日本の家族のような人々です。だから、皆さんできるだけ先生と仲を良くして、先生を怒らせないでください。

付さんは学生の疑問についての答え：

1) 勉強の時間とアルバイトの時間はどうやってバランスを維持できますか。

こたえ：アルバイトしすぎたら、もちろん勉強の時間が少なくなる。でも、ひとによって、ど

ちが大切か違いますね。もし本当に知識欲がつよかったら、いい大学に入りたかったら、ある程度アルバイトしかやりません。しょうがないから、この二つのことは、学生の私たつにとって矛盾です。時間が何よりも大切なものです。

最後、鄭先生が先輩たちを感詩して、皆さんに発表しました。

鄭先生 皆さんはもう自分の親と離れて、一人暮らしをしていますから、今こそ自分で自立をしないと、いけない時です。自分のしたことを責任を取らなければならないんですが。恋人なんて作るどころじゃないでしょう。どうして、皆さんが自分の国を離れて、わざわざ日本へ留学に来ましたか?たぶん自分のことを変わりたくて、自分の夢を追いかけたからと思います。だから、何かあったら、冷静に分析して、考えた上で、決めてください。日本に来たからには、日本のルールを守るべきだ。外国人といえども、「郷にいつては郷に従え」ですからね。今日ここまでですが、皆さん帰る時、気をつけてください。最後は先輩ともう一度挨拶しましょうか。

(記録係 尋方園)

